

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

丈夫で長持ちするいえ2018

グループの名称

一般社団法人 静岡木の家ネットワーク

直近採択グループ番号

06-0086-0449

(グループ代表者)

代表者名

桑原 人彦

代表者印

代表者所属先

株式会社 桑原建設

代表者所在地

静岡県浜松市中区富塚町2808-1

代表者電話番号

053-525-6511

(グループ事務局)

事務局事業者名

一般社団法人静岡木の家ネットワーク

事務局担当者名

渡井 美枝子

印

事務局郵便番号

417-8580

事務局所在地

静岡県富士市大淵2410-1

事務局電話番号

0545-35-3003

事務局FAX

0545-35-3569

事務局担当者E-mail

info@fuji-jbn.com



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		69	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	69	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	8	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		49	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	49	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	6	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		9	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		9	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		27	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	27	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		3	棟			
					200	m <sup>2</sup>			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		1	棟			
					87	m <sup>2</sup>			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	事前のアンケートにて、要望戸数の回答の際に、「申請確実」と記載のあった分を第1優先とし配分し、その次に「申請未確実」と記載のあった分を第2優先として配分。該当者が多い際には、抽選等で決まる。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	30	戸	交付申請戸数	29	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	9	戸	交付申請戸数	8	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 丈夫で長持ちするいえ2018	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 一般社団法人 静岡木の家ネットワーク	(結成年) 2008 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0086-0449	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	主として静岡県・愛知県は日照が良い地域で気候が温暖である。周囲の環境に配慮すると共に建物の配置を計画する。夏季は冷房負荷の削減を図る為、通風及び日射遮蔽計画を検討する。冬季は、季節風及び日射取得を考慮した窓の大きさ・位置を計画し、暖房負荷の削減を図る。また、東海沖地震というマグニチュード8クラスの巨大地震の発生の切迫性が指摘されている地域柄であり、地震に対しての意識が非常に高いため、耐震性を担保する家づくりとする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	東海地震は安政東海沖地震から150年以上の時間が経過し、今後、30年以内に70%以上の高い発生確率のある地域であるため、建築物を耐震等級により性能を担保し、さらに地盤保証を付与し、地震に対して地盤面からの備えを図る。また、家づくりの耐震性の担保においては、階数、面積に関わらず、壁量計算はもちろんのこと、許容応力度の計算によって確認することも勧めていく。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	「遠州からっかぜ」といわれる強い風と、また雨から建物を保護する目的で軒の出及び庇を考慮する。そして日照時間は、全国気象表に掲載されている、主要154観測地点における日照時間の平均時間において静岡県、愛知県は、全国のうち上位を占めており、浜松市は2,207時間、御前崎市は2,230時間、伊良湖は2,205時間を確保しているため、夏季においては軒の出、及び庇により、日射遮蔽を考慮する。また冬季においては、日射取得を妨げないよう配慮しながら、バランスのとれた住宅のデザインとする。	○
④①～③の背景	上記①～③の文章と重複しますが、静岡県・愛知県は日照が良い地域で気候も温暖である。東海地震は安政東海沖地震から150年以上の時間が経過し、今後、30年以内に70%以上の高い発生確率のある地域である。冬季においては、北西風と呼ばれる「からっかぜ」が高い頻度で吹くのが特徴である。夏季においては、太平洋から陸地に吹く強い風が特徴である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	補助申請する全ての新築住宅について、長期優良住宅の認定を取得する。LED照明を90%以上採用する。給湯設備、空調設備を高効率型とする。シンボルツリー高さ2.0m以上の樹木一本以上を敷地内に植樹する。主要構造材(土台・柱・梁・桁)に静岡県産材を50%以上使用する。ただし、品質・強度・納期などを考慮し合法性の証明される「地域材」の使用も可とする。CASBEE評価を行い「B+ランク」以上とする。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 水平剛性面の性能担保のため床面は構造用合板24mm以上、および屋根面は、構造用合板9mm以上同等の建材を利用する事により、起こるであろう大地震に対して万全の備えを検討する。主要構造材(土台・柱・梁・桁)は、土台105mm角以上、柱105mm角以上、通し柱120mm角以上、又は、同等の耐力を有するものとし、梁幅105mm以上を検討する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内の各構成員が「静岡木の家ネットワーク」定例会において、建材・資材調達の共同化に向けての話し合いを進める。グループ内へのアンケート調査等を通じ、グループ構成員の要求を捉え、材料の共通化による販売方法、販売価格の検討を行う。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局および各構成員事業所の事務の合理化を図るように努めていくこととする。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 平成24年4月から各ワーキンググループを設立し、月に1回以上の活動をしている。環境共生ワーキンググループによる外皮計算研修、リフォームリノベーションワーキンググループによる中古住宅活用研修、工務店力向上ワーキンググループによる図面作成、各工事進捗検査、アフターメンテナンスの実施方法のワンストップ化を進めている。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 2ヶ月に1回の定例会を利用し、その中で各構成員へのアンケート調査を実施し、共通部材等の供給体制の確認をし、状況をまとめ、各構成員に対して、情報を共有化し、合理化を図っている。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各瑕疵担保保険における共通施工基準書の講習を行い、施工の信頼性を向上させるよう取り組んでいる。地域木造住宅生産体制推進協議会の断熱施工講習会を全員受けている。新規の施工構成員は年度内に必ず受講する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅建設の品質を担保するために、各構成員の現場管理者が、建築基準法に沿った各工事状況を記載した白板や黒板を用いて、写真を撮り、引き渡し時に顧客に説明をし、引き渡し書類に添付する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積り書の見える化を図るために、一式表示を廃止し、見積内容説明確認書に顧客の署名・捺印を頂くこととする。そして事務局が必ず見積内容説明確認書をチェックする。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 顧客に向けて、合同見学会(構造見学会・完成見学会)を開催し、信頼性向上に努めている。ホームページにおいて、顧客に向けて、各構成員の活動とワーキンググループの活動を告知し、信頼性向上に努めている。完成保証は、現時点において、施工グループの30%は加入しており、その他の施工グループに完成保証の加入を促す。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場での週休2日を実現するために工程の見直し、お施主様への周知など必要な措置を講じ各社にて努力する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社、現場に入る業者、職人の技能、経験を見極め、査定し、それに見合った処遇を実現するために努力する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場に入る業者、職人に社会保険に加入しているか聞き取りを実施し、未加入者がいた場合は加入を促す。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場に入る業者、職人に安全に対する意識を高め、また、健康に留意して作業をする事を各社にて教育していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	環境共生ワーキンググループ、リフォームリノベーションワーキンググループ、工務店力向上ワーキンググループに加入していない構成員に対し、各ワーキンググループに加入を促し、各構成員の知識及び技術を向上する。 『◎』については、事務局にて、納品書等(現場写真等)の確認をする。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 丈夫で長持ちするいえ2018	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 一般社団法人 静岡家の家ネットワーク	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0086-0449	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: VI施工グループは、一般社団法人JBN・全国工務店協会に所属しているため、原則としてJBN会員専用の「いえもりかて(住宅履歴システム)」を利用する。定期点検時期を、3年・5年・10年は無償とし、その後15年・20年・30年は有償にて点検を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: VI施工グループは、一般社団法人JBN・全国工務店協会に所属しているため、原則としてJBN会員専用の「いえもりかて(住宅履歴システム)」を利用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原則、インターネットを利用して、JBNのいえもりかてを利用して、施工業者、建築主それぞれが、履歴情報を確認できるようにする。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: H24年4月から継続しているリフォームリノベーションワーキンググループにより、将来のリフォーム基準作成を行っている。インスペクター講習会を積極的に受講する。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インターネットからもダウンロード出来る、H25年8月全国建設労働組合総連合発行の「木造軸組住宅部別別リフォームマニュアル」本掲載の「部別別工事の流れと注意点」を参考に行う。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社にて確認する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの管理については、JBN住まいの管理手帳を元に説明会を開催する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: DIY相談会については、例として外壁や木部の塗装の保証切れによる劣化対策としての塗料の種類による塗装方法の選択の相談会および体験会を行う。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループ内のリフォームリノベーションワーキンググループによる活動と、工務店力向上ワーキンググループ内で計画している仕組みの中で、他団体との連携をすることも視野に入れ、維持管理の専門検査員を育成していくことを検討している。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現時点においては、施工構成員の30%は完成保証に加入しており、その他の施工構成員には完成保証の加入を促す。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2ヶ月に1回、工務店会員による、「工務店部会」を開催し、会員工務店同士がそれぞれの施工方法を紹介し、意見交換を行う機会を設けている。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局にて、JBN会員専用の「いえもりかて(住宅履歴システム)」の登録用紙の確認をする。		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループ内の、工務店力向上ワーキンググループは、未経験構成員に向け、長期優良住宅の設計、施工研修を開催している。また、環境共生ワーキンググループにて、省エネ設計・施工研修を開催している。これらの活動を会員、会員以外にも告知し、広く地域レベルの向上に努めている。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2ヶ月に1回、工務店会員による、「工務店部会」を開催し、耐震・断熱・気密の標準設計を策定する意見交換を行う機会を設けている。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社にて確認する。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループ内の工務店の技術力の特徴をHPIに展開し、顧客に告知している。また、当補助事業を通じ、過去3年間の平均受注戸数や、直近の年間戸数、各社、事務局が目標を共有化している。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合同見学会(構造見学会・完成見学会)を開催し、各々の建物を見学することにより、施工構成員の知識と技術力の向上に努めている。かつ、住宅の省エネ性能の説明会を行い、ZEHモデルの発表会を行っている。また森林伐採ツアーも兼ねて、国産材の普及に努めている。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合同見学会(構造見学会・完成見学会)と、当グループの定例会時に合同研修会を開催し、全構成員が参加し、知識と技術力向上に努め、合理化の仕組みづくりに取り組んでいる。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 94 今年度の参加目標人数 16	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 73 今年度の参加目標人数 18	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域木造住宅生産体制推進協議会ホームページにて告知されている省エネ技術者講習会の開催日程を会員には、チラシの配布とメールにて告知をしており、さらに協議会参加他団体にもチラシを配布している。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新規乾燥工程の確認、内部割れの問題について検証している。長期優良住宅の耐震等級品質を向上させるため構造計算の担保をいかにしてはけない。新たな乾燥工程を岐阜県立森林文化アカデミー等から情報提供を頂き、天竜林業試験センターとも共同し確立する手伝いをしていく。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 岐阜県立森林文化アカデミーでの中温乾燥や、東京新木場での「オールドライ=内部破壊を抑える新規の乾燥工程、乾燥窯の総称」等で実験検証をしている。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 丈夫で長持ちするいえ2018	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 一般社団法人 静岡木の家ネットワーク	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0086-0449	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	地域材利用に関する 共通 ルール (必須)	◎
②	地域材利用の1棟当 たりの割合 (必須)	◎
③	標準的な地域材の使 用部位 (必須)	◎
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明	
b		
①-1	地域材在庫把握の仕組	○
①-2	地域材価格の共有の仕組	○
②	グループ全体における地 域材の需給予測	○
c		
①-1	畳の活用	
①-2	和瓦の活用	
①-3	襖の活用	
①-4	障子の活用	
②-1	その他地域の伝統的な素 材の活用	
②-2	その他地域の伝統的な意 匠の活用	
d		
①	地域の伝統的なデザ インを継承する取組	○
②	地域の住まい方の継承に つながる取組	○
③	地域の街並み形成へ寄 与する取組	○
④	和の住まいの要素を取 入れた取組	○
その他	※上記項目以外でグループ自 身のルール・目標があれば記入 してください。	◎
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 丈夫で長持ちするいえ2018	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 一般社団法人 静岡木の家ネットワーク	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0086-0449	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴                  ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。                  ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p>認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、について                  主要供給地域の静岡県・愛知県地区は、日照時間に恵まれ全国でも稀な温暖地域です。                  一社) 静岡木の家ネットワークの環境共生ワーキンググループでは、平成24年から活動しており、H25年度改正省エネルギー法への対応策として                  著名な温熱環境講師をこの静岡に招き、一年で全6回の「温熱教室」を開催し、全構成員の温熱環境に対する意識と技術レベル、計算レベルの向上を                  図って参りました。                  そして、断熱設計技術者講習、断熱施工技術者講習への参加も各構成員に促して来た結果、現在ほぼ全員が受講完了しております。                  さらに上記仕様の全ての新築住宅に長期優良住宅の認定を受けることを必須とします。</p> <p>優良建築物型について                  工務店力向上ワーキンググループは、低炭素基準の設計・施工基準を学ぶために、構成員に対し、勉強会を開いています。                  その様な土台作りが続けられてきた結果、外皮計算、一次エネルギー消費量計算を理解した各構成員が、                  温暖な地域ではあるが冬にも配慮した、省エネルギー住宅を建築することを推進しています。                  夏冬の太陽軌跡から日射のコントロールを行い、夏は日射遮蔽をし、通風計画、気密性能を十分に高めた上で、換気によるエネルギー損失を最小限に                  とどめ、                  また、冬はより多くの日射を住戸に取込み、十分に高めた断熱性能によりエアコン等の暖房機器負荷を大幅に削減します。</p> <p>結果、建物本体の断熱性能を高めた事により、機械に頼り過ぎない家づくりを実現しております。                  当グループはコストバランスを考慮した上で、R030%以上、R110%以上を施工基準に設定しています。</p> <p>今後、さらにR040%、R120%を目標値として設定し、建物本体の性能の向上を目指していきます。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。